絆

2024 APRIL

JAグループ青森 月刊広報誌［928号］

KIZUNA

4

JAグループ

耕そう、大地と地域のみらい。

乃木坂46と一緒に学ぶ「国消国産（こくしょうこくさん）」

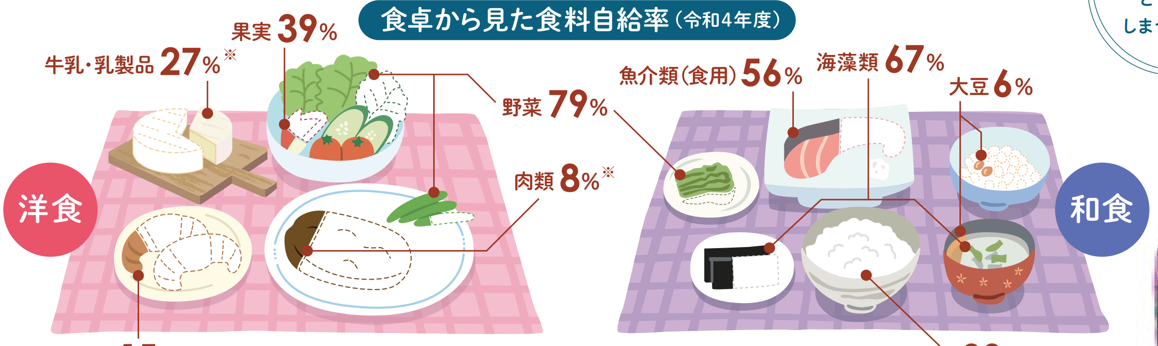
なぜ今国消国産？

私たちが食べているものの約6割※は外国から輸入している

※出典:「令和4年度食料需給表」(農林水産省)

もし輸入が止まってしまったらどうなってしまうのだろう

食卓から見た食料自給率（令和4年度）



「令和4年度食料需給表」(農林水産省)をもとに作成
注:数値は品目別自給率(重量ベース)。※は飼料自給率を考慮した値

国消国産をすすめると?

『国消国産』は私たちの食卓を未来へつなぐこと

JAグループが『国消国産』を提起したのは、「私たちの『国』で生『産』した食べものを、この『国』で『消』費する」だけでは、食べものの多くを輸入に頼る危うい状況を変えられないからです。『**国消国産**』は、「私たちの『**国**』で『**消**』費する食べものは、できるだけこの『**国**』で生『**産**』する」いう考え方。これを実践することは、食料自給率の向上、ひいては私たちの食卓を未来へつなぐことにもなるんです。

「国消国産」は地産地消やSDGsにもつながっている

各地で、地産地消をすすめよう!

その地域で生産された農畜産物をその地域で消費しよう

例えば

JA直売所で地元の新鮮な農畜産物を手にとる

▼

農家の皆さんを応援!!

国消国産の実現!

そのことによって

私たちの『国』で『消』費する食べものは、できるだけこの『国』で生『産』する

- 食料自給率が高くなる
- 農畜産物を生産する力が高まる
- 次世代の農業生産者が増える

SDGsにも貢献

- 食材を長距離輸送する必要がなく、CO_2排出量の削減で"つくる責任"に貢献
- 必要以上の食料輸入をしないことで、"飢餓をゼロに"に貢献

日本の未来を支える農業。乃木坂46は、JAグループの「国消国産」を応援します。

メンバーが生産現場で奮闘する動画を公開中!
楽しんで学べるコンテンツがたくさん!
ぜひアクセスしてください!

乃木坂46　国消国産

JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

乃木坂46

巻頭言

第30回ＪＡ青森県大会に向けて

本会では、本年12月５日、第30回ＪＡ青森県大会を青森市内で開催する。2025年度から３年間を実践期間に、ＪＡグループ青森の取組方針を決議する。食料安全保障の強化に向けてＪＡグループが果たすべき役割や、厳しい経営環境下でのＪＡの経営・組織基盤強化に向けた指針を今後検討する。

大会では、ＪＡグループ青森が中長期的に目指す姿を確認する。決議に取組み方針や目標を盛込み、各ＪＡは、決議や地域の実情、組合員の声を、各ＪＡの中期計画などに反映させ実践することとなる。

【前回大会の振り返りと対応方向】

第29回ＪＡ青森県大会では、「持続可能な農業と地域の実現～10年後も元気な農業と地域をめざして～さらなる深化を！」をめざすこととした。

その実現のために、次の４つの重点目標「食料･農業基盤の確立」「豊かな暮らしの実現」「組織･経営基盤の強化」「「食」「農」「協同組合」の理解醸成」を掲げ､様々な取組みを現在実践している。

第30回大会では、①第29回大会の実践状況について課題分析、②食料・農業・農村を取巻く環境、③地域・組織・経営の将来見通しを行い、今後の対応方向について検討を行うこととしている。

【食料・農業・農村を取巻く環境】

食料・農業・農村を取巻く環境変化として、制定から20年以上が経過した「食料・農業・農村基本法」（同法は、「農政の憲法」と評される）が本年改正される。同法の改正案には、ＪＡグループが要望した「食料安全保障の強化」、「再生産に配慮した適正な価格形成の仕組みの具体化」、「農業の持続的な発展」等が盛込まれた。

法案成立後は、食料安全保障に関する施策や適正な価格形成等の実現、施策の予算確保に向けてＪＡグループが一体となって政府への働きかけや、それらの実現のためにＪＡ自らが積極的に取組む必要がある。そのため、同法に関連する取組みが本大会の重点目標のひとつとなる。

【地域・組織・経営の将来見通し】

地域・組織・経営の将来見通しとして、農業者の高齢化や後継者不足による正組合員の減少が挙げられる。令和４年度の正組合員数は県全体で、57,556名と10年前の平成24年68,463名から10,907名が減少（毎年1,000名以上が減少）している。また、正組合員の年齢構成をみると70歳以上の割合が54.4％（令和４年度）と高く、この年齢層の離農等に伴い今後も正組合員が減少することが予想される。

一方、ＪＡ経営の現状は、事業総利益の減少傾向が続いている。令和４年度は県全体で、202億円と10年前の平成24年226億円から24億円減少している。農業者や地域人口の減少、同業他社との競争激化等の中で収益確保に向けた対応策を検討しなければならない。

また、費用の現状は、事業管理費が令和４年度は県全体で、188億円と10年前の平成24年210億円から21億円減少している。収益の減少を支店・施設の再編や職員数の抑制等により事業利益を確保している。

費用は減少しているものの、ＪＡでは、取得から30年以上経過している多くの農業関連施設、事業所等が存在する。今後、機械の更新費用や建物の修繕費、新たな施設の取得等による多額の費用が発生することが予想される中で、施設利用の効率化（施設稼働率の確保、施設労働者の確保、職員の適正配置、修繕費の抑制等）のために施設の集約や複数のＪＡでの共同運用等に向けた取組みも重点目標となる。

【大会議案のすすめ方】

大会議案は、今後情勢分析を進め課題や対応方向を整理し、５月から各ＪＡの役職員や青年部、女性部等の意見徴収をえて議案（原案）を作成する。

その後、７から８月にかけて、その議案（原案）に対して各ＪＡや組合員等に協議してもらい、必要な修正を加える。そして、９月の議案審議委員会での審議等をえて11月上旬に本会の理事会において議案を決定し、大会を迎えることとなる。

「持続可能な農業と地域の実現～10年後も元気な農業と地域をめざして～」のために、ＪＡグループ青森の将来方向と実践方策の議論を深めていかなければならない。

ＪＡ青森中央会

絆 4 KIZUNA

目　次

C O N T E N T S

巻頭言	1
フラッシュ	2
インフォメーション	4
東北農政局通信あおもり	16
組織農政通信	17
実践農業者支援	18
経営の窓口	20
ＪＡつがる弘前ＮＥＷＳ	22
輝き・すすめ！ SDGs・ＪＡ人の動き	23
誉（ほまれ）	24

表紙の写真：新・農のある風景 ～其の97～　八戸市立豊崎小　県ＪＡ女性協のかべ新聞コンクール最優秀賞（ＪＡ八戸）

平成１４年３月３１日以前に
農林漁業団体にお勤めされていた方

特例一時金がもらえるかもしれません！

下記にお心当たりがある方、ご連絡をお願いします！

1. 平成8年12月以前に団体を退職している
2. 「ねんきん定期便」に農林年金期間が含まれていない
3. 農林年金から一時金等を受け取ったことがないが、何の連絡もない

※上記のいずれかに当てはまっていても過去に退職一時金を貰っている場合や、加入期間等によって特例一時金がお支払いできない場合もあります。

住所登録センター　0120-199-155

※対象団体は農協（農業協同組合、経済連（県農）、共済連、信連、厚生連（厚生連病院（(厚生病院)）、ホクレン等）、漁協、森林組合、農業共済、土地改良区、農業会議、たばこ耕作組合、農業信用基金協会などにお勤めだった方。

農林漁業団体職員共済組合（農林年金）　https://www.norin-nenkin.or.jp/

農林年金

詳しくは QR コードからもご覧いただけます

うけとりくん

知る、活かす、つなぐ

～ＪＡグループ情報共有運動～

ＪＡグループの広報・PRは日本農業新聞の広告で。

日本農業新聞

全国約30万部発行。
全国のＪＡが出資し、農業の専門紙では唯一の日刊紙。
農家組合員とＪＡグループ、地域をつなぐ全国メディアです。

日本農業新聞公式サイト

月間ページビュー数約90万。
農業関係者だけでなく、幅広い年代のユーザーに閲覧されています。
Yahoo!ニュース、SmartNewsなどからも多数のユーザーが流入しています。

フレマルシェ

全国約25万部発行。
ＪＡのファーマーズマーケットを中心に配布している消費者向けフリーペーパーです。メイン読者層は30代～60代の女性です。

お問い合わせ先：日本農業新聞広告部
Eメール koukoku@agrinews.co.jp　TEL 03-6281-5810

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞

家の光

IE no HIKARI

創刊100周年に向けて『家の光』が2024年5月号から誌面リニューアル!!

表紙はこんな感じ！
（デザインイメージです）

お申し込みはお近くのJAへ

リニューアルのポイント

3つのもっと

もっと カラーページを増やしデザインを一新

もっと 活用しやすく読み応えのある内容に

もっと 地域・JAに関する情報を充実

定価（税込）
- 普通月号 629円
- 付録月号（1･4･5･7･9月号）922円
- 家計簿付き12月号 1,027円

JAグループ　家の光協会　〒162-8448　東京都新宿区市谷船河原町11　TEL 03-3266-9039　http://www.ienohikari.net

まっしぐら
ひと粒ひと粒がしっかりとし
控えめな甘さ
青天の霹靂
上品な甘みと
さっぱりした食感
食卓晴れる、あおもり米。
はれわたり
はれわたり
はじけるような粒と
なめらかな食感
青森には三種類のおいしさがあります。
青森米本部
©やなせたかし／やなせスタジオ
WEBサイト
青森米本部
Instagram
MISS_CLEAN_RICE_AOMORI

ビジネスや家族旅行に
ご利用ください！
検索・ご予約はこちら
https://ntour.jp/e-tabibiyori/
農協観光の
国内宿泊予約サイト
イイ　びより
e-たび日和
ご利用の手順
1
PCやスマホで宿泊施設を
検索・予約
POINT!
24時間
WEB予約
が可能！
2
クレジットカードで
お支払
POINT!
JAカードで
お支払いの場合
2%ポイント
還元！
3
出張や旅行へ
GO！
Tour 株式会社農協観光
旅行企画・実施・お申込み・お問い合わせ先
観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社農協観光
北東北支店　青森エリアセンター
TEL 017−729−8800
〒030-0847　青森市東大野二丁目1－15
総合旅行業務取扱管理者　泉澤　睦男
ボンド保証会員
旅行業公正取引協議会会員

作品紹介

●令和5年度　JA共済青森県小・中学生交通安全ポスターコンクール（交通安全ポスター最優秀賞）

JA共済連会長賞《佳作》

むつ市立
苫生小学校１年
相馬　結月

青森県立
青森第一養護学校２年
山内　　類

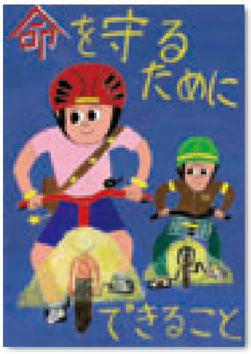
JA共済連会長賞《佳作》

大鰐町立
大鰐小学校３年
葛西　咲乃

JA共済連会長賞《銅賞》

むつ市立
第三田名部小学校４年
佐藤　　楓

JA共済連会長賞《銅賞》



西目屋村立
西目屋小学校５年
山下　栞和

JA共済連会長賞《銅賞》

弘前市立
致遠小学校６年
福地　咲文

JA共済連会長賞《金賞》

青森市立
新城中学校１年
下山　和瑚

青森市立
筒井中学校２年
菊池　海翔

田舎館村立
田舎館中学校３年
小野　陽向

絆 2024 APRIL JAグループ青森 月刊広報誌［928号］ KIZUNA

発行所／JAグループ青森　発行人／小山　主税
JA青森中央会／JAバンク青森
JA全農あおもり／JA共済連青森
〒030-0847　青森市東大野二丁目1番地15
☎017-729-8755（JA青森中央会総務企画部総務課）
印刷所／長尾印刷株式会社
令和６年４月10日発行
定価／200円
（会員の購読料は賦課金に含まれています）
R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用